

浜高だより

令和7年6月27日(金)

編集発行
北海道浜頓別高等学校
北海道浜頓別高等学校PTA
印刷 (有)天北印刷工業



4月8日(火)春の陽気の中、本校体育館において令和7年度入学式が執り行われました。今年度よりデザインが刷新された制服を着た新入生20名が入学しました。新入生を代表して、石川茜さんが、今まで先輩たちが築き上げてきた伝統を受け継いで、浜頓別高校の生徒として一生懸命取り組んでいく決意を表明しました。

式典では、浜頓別町長南尚敏様より、芸人で、映画監督としても世界的に評価されている北野武氏の「勉強するから、何をしたいかがわかる。勉強しないから、何をしたいかがわからない」という言葉を紹介していただきました。そして、勉強を通して興味が広がり、結果として新たな目標や夢が見えてくるので、高校時代に失敗を恐れず、新たな可能性を追い求めてほしいとご祝辞をいただきました。

また、本校の「保護者と教職員の会」会長より、卒業するときには成年年齢である18歳として責任を負う成人となるので、3年間の学びを通して、独り立ちをするための礎を築いて欲しいと、これからの新たな高校生活に向けて励ましの言葉をいただきました。



入学式を終えて

石川 茜

入学式当日、真新しい制服に腕を通した私は、「とうとう高校生になるんだ！」という実感が湧き、新しい生活への期待で胸が高鳴りました。楽しみで仕方がありませんでした。そんな気持ちで教室に入ったのはよいものの、周りを見渡すと知らない顔の人ばかり。中学校とは全く環境が違ってどうしたらよいかわからず、緊張が一気に高まりました。そして、あんなに感じていた期待が薄らぎ、「上手くやっていけるだろうか」という不安がどんどん強まりました。

しかし、一週間が経つ頃には、その不安がまるで嘘のように消えてなくなりました。緊張して固まっていた私に、クラスメイトは何度も話しかけてくれました。そのおかげで緊張がほぐれ、私から話しかけることも増え、クラスメイトとの関わりに少しずつ慣れていきました。

新しくできた友人と何気ない会話をして笑い合い、時には好きなことを語り合って、互いの新たな一面を知る。会話を交わす度、仲が深まっていくのを感じられて嬉しです。先生方は面白くてわかりやすい授業をしてくださるので、楽しみながら最後まで集中して授業を受けています。また、理解でききるまで親切に教えてくださるので、気を楽にして質問ができています。学校生活は忙しいですが、とても充実しています。こんなに楽しい日々を送れるのは、優しいクラスメイトと先生方のおかげです。浜頓別高校に入学してよかったと改めて思います。

これからも、様々な行事や日常生活を通して、クラスメイトとの交流をさらに深めていきたいです。そして、浜頓別高校の一員として、先輩方が築き上げてきたよき伝統を受け継ぎ、日々の努力を怠らず、何事にも真剣に取り組みんでいこうと思います。

ご挨拶

北海道浜頓別高等学校
保護者と教職員の会

会長 山口 亮



昨年度に引き続き本年度も、浜頓別高校保護者と教職員の会会長を務めさせていただくことになりました。本年度も昨年度同様、役員の皆様をはじめ会員の皆様、そして校長先生をはじめ教職員の皆様と協力しながらPTA活動等に取り組みでおかれまして、これまでも多くのPTA活動並びに生徒達の活動に対して、温かいご支援ご協力をいただき感謝申し上げます。今後とも変わらぬご支援ご協力のほどよろしくお願いたします。

学校祭や球技大会などの行事や、PTAの活動等も制限なく行えるようになった昨年度は保護者の皆様、地域の皆様にご協力をいただいで小規模ながらも活気のあるイベントを行えたのでないかと思っております。本当にありがとうございます。私が会長を務める3年目になるわけですが、昨年度までは、コロナウイルス感染症からの脱却など、社会情勢のめまぐるしい変化の中、何ができたのかなど、そして、本年度はどのようにしていけば良いのかと考えながら、皆様のお力をお借りし昨年度以上の活気のある活動をしていけたらと思っておりますので宜しくお願いたします。

子供たちにとって高校生活の3年間は心身ともに大きく成長する為の重要な時期であり将来を左右する大切な時期でもあります。ある講演会で講師の方が、「子育ては4つの期間で考えてみてください。それは、乳児期・幼児期・少年期・青年期の4つです。そして、この期間ごとの親と子のかかわり方というか、子育ての1つの考え方として聞いて下さい。乳児期は肌を離すな・幼児期は肌を離しても手を離すな・少年期は手を離しても目を離すな・青年期は目を離しても心を離すな」と言っていたのを聞いたことがあります。高校生活を送っている子供たちは少年期から青年期へと成長し、試行錯誤を繰り返しながら社会へ出る準備をしている最中です。何があっても「心はいつも子供の傍に」を念頭に置いて、子供たちが安心して高校生活を送れるようにサポートしていかねばならないと改めて思った次第です。また学校祭等々各種行事や部活動、そして、学習面や生活面において、保護者の皆様や校長先生をはじめ教職員の皆様、地域の皆様のご指導やご協力が必要不可欠であると思っております。子供たちや保護者の皆様は浜頓別高校に来て良かった、通わせて良かったと思ってもらえ、これからは進学校として、地域の皆様から必要とされ、この地域になくならない高校となるよう、関係機関と連携を取り、多くの皆様のご協力を得ながら、PTA活動・運営をし、さらに発展していけるよう尽力していこうと考えております。微力ではありますが、皆様のご支援ご協力をいただきますがら取り組みますので1年間どうぞよろしくお願いたします。



子ども達の成長を願って

校長 福本典子

昨年度、浜頓別高校に着任して以来、生徒に読書を勧めています。私が幼い頃から本が好きで、司書教諭・司書の資格を有していることももちろん影響していますが、高校・大学の入試問題等からも、高い読解力が求められていると感じますし、予測困難で複雑な現代社会を生きるためには、柔軟な想像力が必要だとも感じるので、読書がその一助になると考えてのことです。少なくとも私は、本を読むと知識を得たり、想像して何かを感じたり、自分自身に置き換えて考えたりします。生徒にもぜひ、そのような経験をして欲しいと思い読書を勧めています。

先日、早見和真さんの『アルプス席の母』という作品を読みました。この作品は2025年本屋大賞で2位に選ばれた作品です。題名から想像するとおり、高校野球を題材にした話です。しかし、この作品が多くの野球青春小説と違うところは、主人公が「母」であることです。甲子園を目指す高校球児を主人公にした感動的な物語はこれまでたくさんありました。それはどれも苦戦しながら試合を勝ち進むハラハラドキドキする物語でした。ところが、この作品の中心は野球を通して成長する高校生の息子を見守る等身大の母の姿です。どこにでもいるその母の姿に共感し、思わず泣いてしまうのです。自分の好きなことを見つけて、それに打ち込む息子。中学生までは食事や洗濯等でそれを支える母。そのあたりの大変さは想像できますが、甲子園を目指す強豪校で打ち込む野球は、そしてそれを陰で見守る母の大変さは、想像以上でした。寮生活をする息子の体調や怪我に気を揉み、試合に出られるかどうか、試合で活躍できるかどうかにドキドキし、上級生や仲間との人間関係にハラハラする、母の心配は尽きません。それだけでなく、母の方も強豪野球部の父母会には厳しい上下関係や理不尽な約束事があり戸惑います。父母会へ反発する気持ちや指導者への不満もあるけれど、常に息子にとって何か最適かを考えてぐっと堪え、ひたすら応援します。

そんな息子を想い、悩み、葛藤する母々々の姿に、本校の保護者や自分自身の姿が重なります。子ども達が壁にぶつかると、心配で仕方がないし、助けたくもなりません。けれど、高校生だからと口を出すのを憚ることもありません。自分の力で乗り越えることも大切だと、我慢して見守ることもあります。子ども達には、失敗しながら学び、その中でしっかり考えて、着実に成長してほしいと願います。成長するのは子ども達自身です。我々教職員は適切に導きながら、成長を促せるよう努めます。そして、時には子ども達の力を信じて見守ります。子ども達を想う保護者の皆様の気持ちを中心に留めながら、教育活動を進めて参りますので、今後ともご理解とご協力をよろしくお願いします。

北海道浜頓別高等学校
保護者と教職員の
会（PTA）役員

顧問

西 浮 村 福
英 俊 中 田
二 康 克 典
明 二 子

会長

(校長)

副会長

山 口 亮

監事

鹿 内 慎
黒 田 太
藤 田 美

研修委員

中 井 景
平 井 景
川 井 景

生活委員

長 尾 洋 子
石 川 章 樹
丹 治 美 子
山 本 輝 子

学年委員

北 尾 山
土 本 家
安 彦 屋
末 永 奈

※敬称略

今年度の教職員を紹介します

職名	氏名	担当教科	校務分掌	学年	部局顧問
校長	福本典子	国語			
教頭	菅俊昭	数学			
教諭	奈良崎愛	家庭	進路指導部長	3 A 副	家庭科
教諭	新屋力	保健体育	生徒指導部長	1 A 副	バドミントン
教諭	吉田士朗	数学	教務・進路指導	2 A 正	美術・ボランティア
教諭	棚橋晃祐	商業・情報	教務・生徒指導	3 学年付	バスケットボール
教諭	坂井雅洸	理科	教務部長	2 A 副	卓球・家庭科
教諭	国府和史	数学	教務・進路指導	1 A 正	吹奏楽
教諭	林田保輝	地歴・公民	教務・進路指導	3 A 正	卓球・吹奏楽
教諭	三輪優月	国語	生徒指導・進路指導	1 学年付	バドミントン・ボランティア
教諭(期限付)	新江雅宏	外国語	教務・進路指導	2 学年付	美術
教諭(期限付)	會田昂平	保健体育	生徒指導	1 学年付	バスケットボール
養護教諭	柳夏鈴		保健主事・生徒指導	2 学年付	ボランティア
事務長	木島智一		総括・人事・団体・支出・財産		
事務職員	深澤涼太		物品・契約・収入・給与・旅費		
主事(非常勤)	瀬川友紀		庶務		

部局活動成績 (春季大会・高体連)

バドミントン部

令和7年度第65回春季名寄地区高等学校バドミントン選手権大会
兼 ヨネックス杯争奪バドミントン大会
兼 国民スポーツ大会名寄地区予選会

男子シングルス

- 2回戦 広瀬 (2A) 2-1 利尻高校
- 3回戦 広瀬 (2A) 0-2 稚内高校

女子シングルス

- 2回戦 伊藤(玲) (2A) 1-2 稚内高校
- 2回戦 伊藤(琉) (2A) 2-0 礼文高校
- 3回戦 伊藤(琉) (2A) 0-2 稚内高校

女子ダブルス

- 1回戦 伊藤(琉) (2A) ・伊藤(玲) (2A) 2-0 利尻高校
- 2回戦 伊藤(琉) (2A) ・伊藤(玲) (2A) 0-2 稚内大谷高校

令和7年度高体連名寄支部バドミントン選手権大会

第77回北海道高等学校バドミントン選手権大会名寄支部予選会

男子シングルス

- 2回戦 山田 (2A) 0-2 名寄高校
- 2回戦 広瀬 (2A) 2-1 利尻高校
- 3回戦 広瀬 (2A) 2-0 遠別農業高校
- 準々決勝 広瀬 (2A) 0-2 稚内高校 (ベスト8)

女子シングルス

- 1回戦 世永 (1A) 0-2 稚内高校
- 1回戦 伊藤(琉) (2A) 2-0 剣淵高校
- 1回戦 伊藤(玲) (2A) 2-0 豊富高校
- 2回戦 伊藤(琉) (2A) 0-2 名寄高校
- 2回戦 伊藤(玲) (2A) 0-2 稚内高校

男子ダブルス

- 1回戦 広瀬 (2A) ・山田 (2A) 0-2 利尻高校

女子ダブルス

- 1回戦 伊藤(琉) (2A) ・伊藤(玲) (2A) 2-0 利尻高校
- 2回戦 伊藤(琉) (2A) ・伊藤(玲) (2A) 0-2 稚内高校

バスケットボール部

令和7年度名寄支部高等学校春季バスケットボール大会

- 男子 1回戦 浜頓別 58 - 52 稚内
- 男子 2回戦 浜頓別 46 - 100 名寄
- 男子 3位決定戦 浜頓別 40 - 74 下川商業

令和7年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技大会名寄支部大会

- 男子 1回戦 浜頓別 90 - 91 稚内
- 男子 順位決定戦 浜頓別 70 - 96 天塩

卓球

第79回国民スポーツ大会卓球大会稚内支部予選会

男子シングルス

- 予選 村田 (2A) 0-2 稚内高
- 予選 村田 (2A) 2-0 枝幸高
- 決勝 村田 (2A) 0-3 枝幸高 (全道大会出場)

女子シングルス

- 予選 本間 (2A) 1-2 香深中
- 予選 本間 (2A) 0-2 宗谷中
- 予選 本間 (2A) 2-0 稚内高 (全道大会出場)
- 予選 三浦 (2A) 2-0 稚内高
- 予選 三浦 (2A) 2-1 稚内高
- 予選 三浦 (2A) 0-2 船舶中 (全道大会出場)

女子ダブルス

- 本間 (2A) ・三浦 (2A) 2-0 枝幸少年団
- 本間 (2A) ・三浦 (2A) 0-2 母親クラブ

令和7年度高体連名寄支部卓球選手権大会

兼 第78回北海道高等学校卓球選手権大会名寄支部予選会

男子シングルス

- 2回戦 村田 (2A) 0-3 名寄

女子シングルス

- 1回戦 島口 (1A) 0-3 名寄
- 1回戦 三浦 (2A) 2-3 名寄
- 2回戦 本間 (2A) 0-3 士別翔雲

女子ダブルス

- 1回戦 本間 (2A) ・三浦 (2A) 3-0 名寄
- 1回戦 本間 (2A) ・三浦 (2A) 0-3 士別翔雲 (ベスト8)

令和6年度進路決定状況

在籍者数

(男子10名 女子13名 合計23名)

		男	女
四年制	国公立	1	
	私立	1	6
短期	大学		
専門	学校	5	4
看護	学校		
公務	員		
就	職	3	3
未	定		
そ	の		
合	計	10	13

令和7年度(2025年度) 主な進路関係行事

- 5月22日(木) 職業分野説明会
- 6月19日(木) 進路体験学習
- 7月18日(金) 高校内企業説明会
- 9月4日(木) インターンシップ成果報告会
- 12月18日(木) キャリア卒業研究全体発表会

※その他、大学進学希望者向けの全国模試や長期休業中をはじめとした進学講習、公務員模試なども随時実施予定

令和6年度卒業生の進学・就職先

(1)国公立大学

- ◆公立千歳科学技術大学 理工学部

(2)私立大学

- ◆札幌大谷大学 芸術学部音楽学科音楽総合コース
- ◆天使大学 看護栄養学部栄養学科
- ◆日本医療大学 保健医療学部診療放射線学科
- ◆北星学園大学 社会福祉学部社会福祉学科
- ◆北海道科学大学 保健医療学部看護学科
- ◆北海道情報大学 経営情報学部システム情報学科
- ◆藤女子大学 ウェルビーイング学部食環境マネジメント学科

(3)専門学校

- ◆札幌観光プライダグ・製菓専門学校 ホテル学科
- ◆札幌観光プライダグ・製菓専門学校 製菓学科
- ◆札幌スポーツ&メディカル専門学校 スポーツトレーナー科パーソナルトレーナーコース
- ◆札幌スポーツ&メディカル専門学校 柔整科
- ◆専門学校札幌ビジュアルアーツ 音響学科PA&照明専攻
- ◆日本航空大学校 航空整備科
- ◆北海道立旭川高等技術専門学院 建築技術科
- ◆北海道医学技術専門学校 臨床検査技師科
- ◆北海道美容専門学校 トータルビューティー科

(4)就職

- ◆医療法人ひまわり会札幌病院
- ◆デラバル株式会社
- ◆中頓別振興公社
- ◆日東建設株式会社
- ◆日本郵便株式会社
- ◆稚内信用金庫

進路指導部より

令和6年度卒業生は、自身の進路に向けて精一杯努力した結果、国公立大学合格をはじめ、道内私立大学、専門学校、就職と、23名全員が進路決定することができました。多様な進路を実現するため日頃から授業や定期考査はもちろん、模試や講習、小論文や面接練習など個に応じた学習を重ねてきました。

今後も進路行事の開催、スタディサプリの活用や講習等、個々の生徒のニーズに合わせた活動を継続・発展させながら取り組めます。

今年度も生徒の進路実現のため、教職員全員でサポートしていきます。保護者の皆さま方におかれましても、ご協力よろしく申し上げます。

浜高行事の様子



入学式



着任式



対面式



高体連壮行会



新入生歓迎コンサート



高体連へ出発



高体連選手へのお弁当作り(家庭科部)



生徒総会



奨学金説明会



交通安全講話



クリーン作戦(ボランティア局)



こども園(ボランティア局)



職業分野説明会



災害対処訓練

編集後記

3月には23名の卒業生を送り出し、4月には20名の新入生を迎えて、新たなスタートを切った本校も、早いもので3ヶ月が経ちました。新しい環境の中で、生徒一人ひとりが日々努力し、少しずつ成長しています。

この『浜高だより』を通じて、浜高生のさまざまな活動の様子を、より多くの方々に知っていただければ幸いです。

浜高HP

<http://www.hamatonbetsu.hokkaido-c.ed.jp>

携帯HP

<http://www.hamatonbetsu.hokkaido-c.ed.jp/keitai/>

〒098-5738 枝幸郡浜頓別町緑ヶ丘5-15
Tel (01634) 2-2109 Fax (01634) 2-4304

